

調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 17日

瀬戸市議会議長 様

議員名 小澤 勝 

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 元年10月30日から10月31日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム i n 高知	
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばさんセンター	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	今回のフォーラムでは、高知が生んだ国民的英雄である坂本龍馬の船中八策にならい「議会活性化のための船中八策」をテーマとし、現代社会に照らし合わせてどう政策に活かせるのか、「船中八策」の内容を確認し現代の課題とその取り組みを考えていきます。 その内容を、これからの議会・議員活動についても実践的な取り組みとして活かせるのか議論してきます	
議長名の依頼	要・ <input type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・冨田宗一・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮菌伸仁・柴田利勝・高島淳・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 元年 11月 29日

瀬戸市議会議長 様

議員名 小澤 勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 元年 10月 30日から 10月 31日まで (1泊2日)
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会 研究フォーラム in 高知
会場名 (会場所在地)	高知県高知市布師田・ 高知ちばさんセンター
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	大会テーマである議会活性化のための取組について 議会には、多様化する民意の市政への反映と集約が期待されており、その民意に対し、議会の現場での課題とその対応策、併せてこれからの議会像・議員像について討議すること。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
《基調講演》 中島 岳志 (なかじま たけし) 1975年大阪生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。現在、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授。	
* 講演内容	
1. 政治のマトリクスと題し、配分をめぐるY軸、価値をめぐるX軸として説明。 Y軸 → セーフティネット強化 (リスクの社会化) = 金 (税金) vs	

(たて) 自己責任 (リスクの個人化) = 価値
X軸 → リベラル (自由主義) = 価値 vs パターナル (父権的)

(よこ)

以上の構図に歴代の首相を当てはめていくと、税金であるお金の社会化、自由主義の価値を尊重した政治姿勢を示した大平首相

次に、税金のセーフネット強化を計り弱者救済的な父権主義的な田中首相

また、規制解除などリスクの個人化やマーケット主義の考え方の小泉首相

そしてGDPの国家歳出や小さな政府を目指し日本という父権主義を尊重する安倍首相、など歴代の首相の国家像を見据え政治のマトリクスを分かり易く講演されました。

世界や日本の歴史の上で普遍的な人間の本性としての伝統主義と、ひとつの特殊な歴史的・近代的現象としての保守主義とを区別する。

それは人間の理性はパーフェクトですか? との問いに対し不完成化と答え。

時代の流れに変化し対応していくことが改革になる、など保守とは対立軸との合意形成である。また、保守とは60点の政治で良いとの判断で臨んできた政治家もあり。改革とは、過去から相続した歴史的財産に対する永遠の微調整と評した

政治家もあり、保守するための改革と考えても過言ではないなど。今後の多極化する経済環境や市民ニーズ、地域間競争や地域間格差など時代の潮流に適合させる政治判断が必要だと感じました。

《パネルディスカッション》

朝日新聞論説委員の坪井ゆづる氏をコーディネーターとして高部正男氏 (市町村職員中央研修所学長)、横田響子氏 (株式会社コラボラ代表取締役/お茶の水女子大学客員教授)、古川康造氏 (高松丸亀町商店街振興組合理事長)、田鍋 剛氏 (高知市議会議長) のパネリストの皆さんがそれぞれの立場と経験に基づき発表が有り、若者の政治離れ、女性立候補者の環境づくり、街づくりと政治・政策立案と取り組みなど有意義な討論が成さ

れ今後の参考になりました。

《課題討議》

今大会のテーマである課題討議として、最終日に前日同様、坪井ゆづる氏がコーディネーターとして滝沢一成氏（上越市議会議員）、久坂くにえ氏（鎌倉市議会議長）、小林雄二氏（周南市議会議長）の皆さんによる課題討議が行われました。実践的に現場で取り組んで見える生の声として、また民意の声としてより各市政に活かし政策の立案、遂行するには事務局体制の強化や法務など専門知識の活用など人的体制強化など議会改革の終わりではなく、継続と持続的な取り組みが必要であるとの認識を改めて参加者が感じたことと思います。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

本年も全国から数千人に及ぶ議員が参加し行われた大会。各地で議会改革の取組がなされ、各地域、各市町村で気候、風土の違いが有れども時代の流れ変化はリアルタイムに伝わり現状の少子高齢社会に対応するには、正に歴史的・近代的現象を踏まえ、過去から相続した歴史的財産に対する微調整を進めることが民意を活かした議会改革につながり施策にも反映させる活動になるかと思いました。